

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p><研究課題名></p> <p>敗血症患者の重症度評価のためのプレセプシン、プロカルシトニンの有用性の研究</p>
<p><研究機関・研究責任者名></p> <p>日本大学医学部附属板橋病院 救命救急センター科 (研究責任者)平林 茉莉奈</p>
<p><研究期間></p> <p>承認日 ～ 西暦 2019 年 3 月 31 日</p>
<p><研究の目的と意義></p> <p>我々が重症な感染症（敗血症）の治療を行う際、重症度の把握のために、敗血症の重症度評価として世界で汎用されている指標（sequential organ failure assessment (SOFA) score）を用いて評価しています。SOFA score とは敗血症を起こした際に障害が起きる臓器障害の度合いを評価する指標です。臓器障害の評価項目として呼吸機能、凝固機能、肝機能、循環機能、中枢神経機能、腎機能を評価します。敗血症と診断した患者さんでは病気の経過を把握するために血液を採取します。その時に敗血症で上昇すると言われている血液中のたんぱくであるプレセプシンとプロカルシトニンの測定を行っています。このプレセプシンとプロカルシトニンの各数値と SOFA score の関連を検討し、今後の治療に役立てます。</p>
<p><利用する試料・情報の項目></p> <p>白血球数、赤血球数、血小板数などの血球数、血液凝固機能検査、肝機能検査、腎機能検査</p>
<p><対象となる患者さん></p> <p>西暦 2014 年 7 月 1 日～西暦 2018 年 3 月 31 日の期間に当院救命救急センター科で敗血症の治療を開始された方</p>
<p><研究の方法></p> <p>採血したデータ、入院時や入院経過中の血圧、脈拍数、呼吸数を用いて治療経過や、予後、重症度評価について研究を行います。</p>
<p><お問い合わせ窓口></p> <p>日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1) 救命救急センター科 氏名:平林 茉莉奈 電話:03-3972-8111 内線:(医局)2800 (PHS)8781</p>